日刊 三崎港報

発行所　三崎港報社
三浦市三崎4丁目11番5号
郵便番号 238－0243
電話(881)5245番（代表）
購読料 1ヵ月1800円 1部70円
郵送 1ヵ月3500円(前納)
営業広告 1段1センチ 700円
特別広告 別規定による
（広告料はすべて前納）

第1回みうら海洋教育フォーラム

全小中と海洋高参加

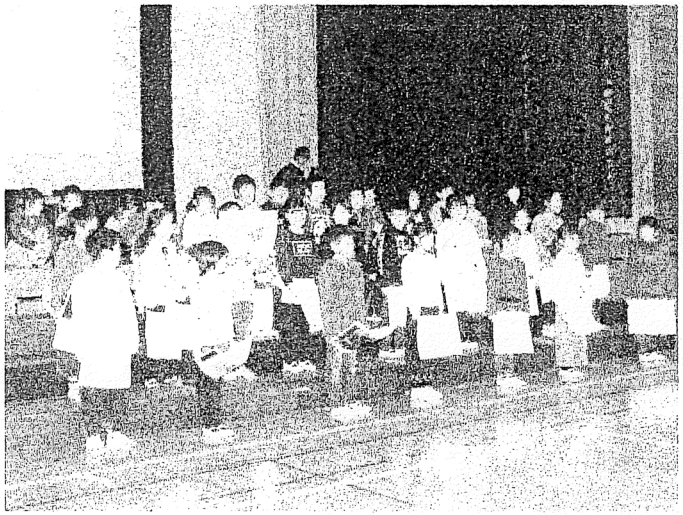
日頃の成果をステージとポスターで

一般社団法人みうら学・海洋教育研究所は26日上宮田小学校体育館で第1回みうら海洋教育フォーラム～海はともだち～を開催する。昨年開催された海洋教育のつどいをバージョンアップしたもので、市内全小中学校のほか海洋科学高校が参加する。同研究所は児童・生徒、保護者、教職員など300人前後の参加を見込んでいる。

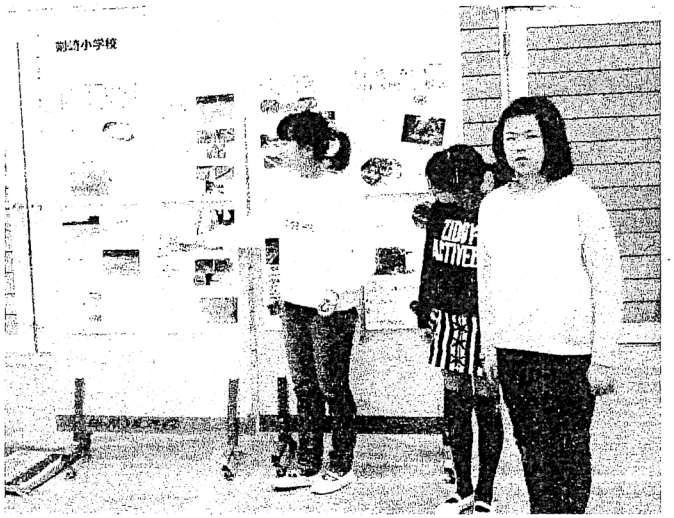
このフォーラムは日頃の海洋教育の実践と成果を発表し、参加した児童・生徒に交流の場を提供。海に対する見識を広めながら、海洋教育のさらなる広がりをめざすのが目的。三浦市教育委員会、三浦市小中学校校長会、三浦市学校教育研究会が後援。東大三崎実験所、同アライアンス海洋教育促進研究センター、NPO小網代パール海育隊、小網代野外調整活動調整会議、観音崎自然博物館、海洋科学高校などが協力する。

午後零時45分開会し、まず、三崎小学校4年生と名向小学校6年生がステージ発表を行う。休憩を挟んで各校が取り組みの成果を発表するポスターセッションに移る。セッションは前半が小学校、後半が中学校と海洋科学高校。すべての発表が終わった後、吉田英男市長が挨拶し、海洋アライアンスセンターが講評する。研究所によると、児童・生徒は130人各校、保護者100人、教職員25人などの出席を見込んでいる。ポスターセッションは2校ずつ行い、1回約7分で発表することになっている。

昨年のステージ発表は初声小学校と旭小学校で、それぞれ約20分間海洋教育の取り組みを紹介した。初声小学校は近くの矢作海岸で採取したエビやカニなどの詳細な観察記録などを、一方、旭小学校はワカメの養殖体験や校内で飼育している『学校水族館』で飼育した生き物の変化などをレポートした。さらにポスターセッションは前半が三崎、南下浦、名向各校、後半が上宮田、剣崎、岬陽各校。また、初声中学校が行い、決められた時間の中で取り組みの成果を発表し、質問にも丁寧に答えていた。



昨年のステージ発表のシーン



研究の成果を発表するポスターセッション

平成30年度みうら観光写真コンクール

締め切りは31日

サブテーマ　あなたのおススメの風景

平成30年度みうら観光写真コンクール（一般社団法人三浦市観光協会主催）の

火の用心